

信州大学ビジョン2015

VISION 2015

信州発飛翔プラン

オンリーワンの
魅力あふれる地域拠点大学
をめざして

信州大学は、著しい変貌を見せる近年の社会状況の中で、国内外の動向を展望し、「理念と目標」のもとに、「信州大学ビジョン 2015」を取りまとめました。本学は、大学を取り巻く内外の厳しい環境を飛躍への機会としてとらえ、歴史と立地条件を活かし、信州ならではの我が国唯一の教育研究領域を開拓します。個性豊かな学部が協働し、総合力と相乗効果を発揮させ、教育研究にキラリと光る特色をもたせ、地域とともに成長し、世界へ飛翔する“オンリーワンの魅力あふれる地域拠点大学”をめざします。

理念

信州大学は、信州の豊かな自然、その歴史と文化、人々の営みを大切にします。
信州大学は、その知的資産と活動を通じて、自然環境の保全、人々の福祉向上、産業の育成と活性化に奉仕します。
信州大学は、世界の多様な文化・思想の交わる場所であり、それらを理解し受け入れ共に生きる若者を育てます。
信州大学は、自立した個性を大切にします。
信州大学で学び、研究する我々は、その成果を人々の幸福に役立て、人々を傷つけるためには使いません。

目標

信州大学は、その存立の理念に基づき、教育・研究・地域貢献・国際交流において次の目標を掲げます。

教育

かけがえない自然を愛し、人類文化・思想の多様性を受容し、豊かなコミュニケーション能力を持つ教養人であり、自ら具体的な課題を見出しその解決に果敢に挑戦する精神と高度の専門知識・能力を備えた個性を育てます。

地域貢献

信州の自然環境の保全、歴史と文化・伝統の継承・発展、人々の教育・福祉の向上と産業発展の具体的な課題に貢献するため、大学を人々に開放し関連各界との緊密な連携・協力を進めます。

研究

人類の知のフロンティアを切り拓き、自然との共存のもとに人類社会の持続的発展をめざした独創的研究を推進し、その成果を地域と世界に発信し、若い才能を引きつける研究環境を築きます。

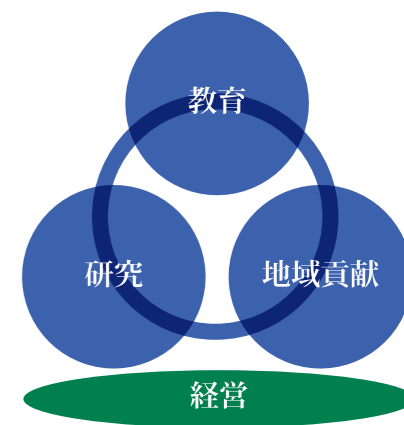
国際交流

諸外国から学生・研究者を積極的に受け入れ、世界に開かれた大学とし、信州の国際交流の大きい推進力となります。

(2001年10月制定)

VISION 2015 信州大学のめざすもの

1. 未来の社会を展望した有為な人材教育の実践
2. 地域に根ざし世界に拓く研究拠点の形成
3. 豊かな地域社会の創造に向けての協働と貢献
4. 社会環境の変化に柔軟に対応する大学経営の推進





信州大学は、学生の視点に立ち、その自己実現を支援し、優れた社会的課題解決能力などの人間力と豊かな人間性を備え、社会で指導的役割を果たしうる人材を育成することを教育の中軸とします。
そのために信州大学は自らの理念と目標に立ち、構成教職員の有する多様で豊かな教育力と信州の自然、社会、歴史、文化などの環境を最大限に活用して教育活動に努めます。

未来の社会を展望した有為な人材教育の実践

1 真理の探究による知の創造拠点の形成とその成果に基づく教育の実践

- 人間としての総合的な魅力を養う教育の充実
- 課題を設定し、包括的な「知」の実践を通して解決する能力の育成
- 環境マインド教育、フィールド体験学習などの本学の実績と信州の自然や伝統を活かし時代の変化に対応する教育
- 一年次生へ教育の場としての新たな寮制の導入など生活環境の整備

2 地域社会および国際社会で活躍できる高度専門人材の育成

- 地域に貢献する高度専門人材の育成
- 地域の先進・中核的医療を担う人材の育成
- 起業マインドをもった人材の育成
- 国際社会で活躍する研究者および専門技術者の育成

3 生涯学習の支援と社会人再教育

- 本学を基幹とする生涯学習ネットワークの構築
- 専門能力の向上をめざした社会人再教育の拡充

4 学生の確保

- 多面的評価と多様な選抜方法の導入
- 効果的な募集活動による意欲的な学生の安定的確保
- 地域社会や企業の要請に応えた社会人の受入れ
- 日本国内で活躍することをめざす外国人留学生の受入れ促進

5 教育の「質」の保証

- 社会からの付託に応える学部・大学院教育の充実
- 教育システムの国際化対応
- 優秀な教員の確保と能力の向上

6 教育実施体制の整備充実

- 教育機能強化のための検証と望ましい教育実施組織への再編成
- 国内外の大学との連携強化
- 「面倒見のよい」学生総合支援体制の充実
- 留学生や海外からの研究者受入れ体制の充実



信州大学は、人類の知のフロンティアを切り拓き、自然との共存のもとに人類社会の持続的発展をめざした独創的研究を推進し、その成果を広く提供することにより、地域と世界に貢献します。

地域に根ざし世界に拓く研究拠点の形成

1 長期的視野に立った基礎研究の推進

- 教員の自由な発想に基づく研究とその成果の教育への反映
- 人類社会の主要課題に関する基礎研究
- 多様な基礎研究の推進と特色ある教育研究拠点の形成

2 信州の自然や生活環境に根ざしたモデル研究の創出と世界展開

- 信州の自然や生活環境に根ざした地域の研究から世界的教育研究拠点への展開
- 健康・医療などの包括的な地域社会システムの創出

3 グローバルな教育研究拠点の形成とネットワークの構築

- 世界最高水準の研究基盤の形成と世界をリードする創造的人材育成
- 先端融合領域による新たな学問およびイノベーション創出拠点の形成と人材育成
- 研究者を大切にし若い才能をひきつける研究環境の整備

4 学内高度研究特区などの設置

- 産学官協働および地域活性化のための特区の形成
- 大型競争資金による拠点形成など研究優先組織の整備
- 特区の特色を活かした柔軟な人材運用システムと戦略的財政運用システムの構築

5 「知財」の重視と円滑な「知的創造サイクル」システムの構築

- 「知的創造サイクル」の円滑・効率的システムの整備充実

6 研究環境の整備

- 研究環境のさらなる計画的整備
- 他研究機関との補完的連携強化

7 研究資金の自立的獲得の支援

- 競争的研究資金獲得の全学的な取組を支援
- 産学官および地域との共同研究の深化の支援



第4回先端繊維国際会議上田

信州は、我らのキャンパスだ!



信州にある唯一の総合大学として、県内全域への教育拠点づくりや地域のブランドづくり、街づくりなどにも積極的に関わっていきます。

豊かな地域社会の創造に向けての協働と貢献

1 信州を中心とした地域連携による教育および文化の拠点としての機能強化

- 豊かな地域社会を創造するための地域と密接に連携した教育、研究および地域貢献
- 地域政策などへの参画と貢献

2 産学官連携強化による産業振興と力強い地域経済構築への協働

- 産学官連携による信州型スーパークラスター形成、地域資源型研究開発プロジェクトなどへの積極的挑戦と地域産業人材の育成
- 第Ⅱ期知的クラスター創成事業などの広域的産学官連携の深化による地域求心力の発揮

3 高度な先進医療の提供と医療人の育成および健康増進のための地域システムの構築

- 「福祉への貢献、医療人の育成、未来の医学・医療の創造」をめざす高度な先進医療の提供と地域医療水準の向上への貢献
- 健康で安全・安心な文化的生活の地域モデル形成

4 信大サポーターのネットワークづくり

- 卒業生、在校生が誇れる大学づくり
- 知の社会貢献活動などを通じた開かれた大学づくり
- 同窓会や在校生、父兄、地域社会などとの連携強化



大学を取り巻く社会環境が著しく変化する中で、学長のリーダーシップのもと「信州大学ビジョン2015」の達成に向けて、広く内外の状況に目を向け、変化に柔軟に対応する自立的な大学経営を推進します。

社会環境の変化に柔軟に対応する大学経営の推進

1 社会的使命とその公共性の上立った自立的な大学運営

- 学長のリーダーシップによる戦略的な組織運営体制の構築
- 知的・物的資産の共有と活用

2 財政基盤の強化

- 戦略的な財務運営の推進
- 外部資金や競争的資金の獲得の強化
- コスト意識の徹底と費用対効果を考慮した効率的運営

3 多様化に応える人事システムと柔軟な組織の構築

- 研修(FD・SD)による人材の育成
- 透明性、公平性の高い人事制度の整備
- 国際性や専門性を備えた経営人材の育成と確保
- 最適な組織編成と効率的な業務の推進

4 病院経営の基盤強化

- 広域健康・医療システムの中核としての経営戦略
- 機動的な診療体制の整備
- 学外識者の参画による経営部門の強化
- 医療制度の適確な把握による増収および業務の効率化

5 ブランド・マネジメントの推進

- ステークホルダーを意識した戦略的な広報の推進
- 国際的広報活動の推進
- 学術情報などの情報基盤・メディアの整備
- 説明責任および透明性の確保のための情報発信
- 自治体および地域住民との教育研究活動情報の共有

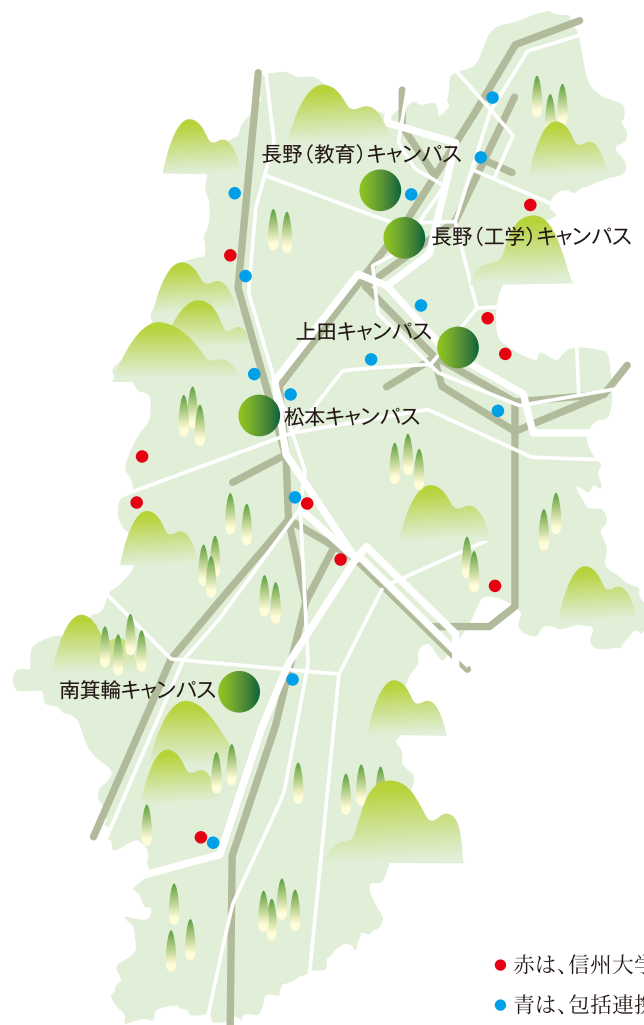
6 安全快適なキャンパス環境の整備

- キャンパス・アメニティの向上
- 地域の特徴を活かしたキャンパス環境の整備
- 循環型社会に対応するエコキャンパスの構築
- 防災・防犯を考慮した安全なキャンパスの構築



信州は、我らのキャンパスだ!

信州は、我らのキャンパスだ!



- 赤は、信州大学の施設、産学官連携拠点です。
- 青は、包括連携協定を締結している自治体です。



皆さまとともに創り 実践するVISION

シンボルマークについて

信州大学の頭文字「S」と信州の天空を雄々しく舞う鳥をモチーフにしたシンボルマーク。3枚の羽は「教育」、「研究」、「社会貢献」を象徴し、それらが一体となった躍動感ある大きな翼は、世界(国際社会)へと飛翔していくイメージを表します。そこには同時に「自然」「社会」「個人」が一体となって未来社会に羽ばたくことも重ねられます。配色の明緑から濃緑へと変化する3色の緑には生命力溢れる信州の自然を反映させ、学生の成長と大学の発展への願いが込められています。

「信州大学ビジョン2015／信州発飛翔プラン」達成に向けた取組

今後、この信州大学ビジョン2015をもとにアクションプランを策定し、具体的な活動を展開していきます。

このパンフレットは、信州大学ビジョン2015を要約したものです。
詳しくは、信州大学のホームページをご覧ください。

国立大学法人 信州大学

www.shinshu-u.ac.jp

発行・編集 信州大学 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 / e-mail: shinhp@shinshu-u.ac.jp
平成20年3月発行 表紙・p.1~2写真 若林武氏